



地域の水田農業の中核を担う 農業生産法人の若きリーダー

米麦経営 上津町 城戸 紀彰 さん (32歳)

農業生産法人の若きリーダー

秋晴れの天気の中、水田で大型のコンバインを使い、米の収穫作業を行う「農事組合法人 e-FARMA 久留米」の代表を務める城戸紀彰さん。

紀彰さんは大学を卒業後すぐに、父親の久利さんの元で就農し、経営基盤の強化を目指して、平成18年に27歳の若さで農業者5名による法人を設立しました。

e-FARMA 久留米では、米・麦、雑穀、たけのこ、カボチャの生産と販売、平成20年からは餅米を加工し、杣つき餅の製造・販売を行っています。また、地域の米麦生産の作業受託を行っています。

減農薬・減化学肥料での米作り

農業のこだわりは、「安全でおいしいお米を消費者に届けること。そのため、「福岡県減農薬・減化学肥料栽培認証（fマーク）」を取得し、安心安全な農産物を提供しています。」と語る紀彰さん。

また、「ネット販売や直売所での販売を手がけることで、直接お客様から「おいしい」と喜びの声をいただけることが嬉しい。」とも語ってくれました。

野菜にもチャレンジ

今後は、「杣つき餅の評判が良いので、餅米の減農薬・減化学肥料栽培認証の取得をめざしたい。また、米・麦だけでなく、野菜の生産・販売にも取り組んでいきたい。」と意欲を見せており、これからの地域の農業の若きリーダーとして、活躍が期待されます。

